

# 令和5年度 第5回 豊田市井郷地域会議 会議録

開催日時	令和5年8月16日(水)	開会	閉会
		午後7時00分	午後8時00分
会場	猿投コミュニティセンター2階 大会議室		
出席者	地域会議委員：18人		
	会長：加藤 勝 副会長：永江 榮司		
	委員：伊東 由岐雄 岩本 直雄 後田 澄夫 大上 二三子		
	梶原 虎之介 加藤 俊治 加藤 真郎 近藤 一也		
澤田 章 杉浦 基之 鈴木 登喜一 鈴木 幹三			
高畑 春香 田中 功 福岡 信明 宮地 俊久			
欠席者	2名(稲垣 一志 新宮 敏雄)		
オブザーバー	豊田市議会議員：中村竹夫		
傍聴者	0名		
事務局	豊田市 安田副市長 地域振興部：中川室長 猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、宮石担当長 企画政策部：都築副部長、企画課：野依課長、都市計画課：今村主幹		
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊田市民の誓い(唱和)</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 第9次豊田市総合計画策定に関する諮問について <ul style="list-style-type: none"> <li>・副市長あいさつ</li> <li>・諮問書の授受</li> <li>・諮問の概要説明(企画課、都市計画課)</li> <li>・副市長との意見交換会</li> </ul> </li> <li>4. 令和6年度の地域課題解決事業について</li> <li>5. わくわく事業現場訪問について</li> <li>6. 情報共有・事務連絡</li> </ol>		

## ■議事(要約)

### 2 会長あいさつ

### 3 第9次豊田市総合計画策定に関する諮問(資料1~10頁、参考資料)

#### ■副市長あいさつ

- ・令和6年度末に第8次豊田市総合計画(以下「8総」という。)の計画期限を迎えるため、第9次豊田市総合計画(以下「9総」という。)に対する意見を皆さんにお聴きするものです。私自身が現役時代に8総の策定に携わってきた。以前の計画では産業・文化・交流などを大事にしてきたが、8総は市民のみなさんと一緒に力を合わせてまちづくりを行うということで、市民のみなさんから見た将来都市像として「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」をコンセプトに進めてきた。

- ・「つながる」ということを重視しており、つながりには、人と人、人と地域や世代と世代をつなぐなど色々ある。最近の市の施策にも「つながる」が取り入れられてきた。「暮らし楽しむまち」は、単純な暮らしの楽しみもあれば、自分の思いと行動が一致したときに楽しいと感ずることがある。
- ・重点施策に、超高齢社会への適応がある。2010から2025年にかけて、豊田市の75歳以上の高齢者が倍増する推計があつて、他地域よりも早い。これに対応することに危機感を持ち、重点施策として設定した。推進するための組織としては、新たに生涯活躍部を作り、文化・スポーツなど皆さんに生涯を通して生き生きと活動に参加を促すような取組を行っている。保健部では、介護予防も含めて健康維持できるような取組、介護予防では「ずっと元気プロジェクト」、福祉部では地域包括支援センターの整備、医療センター内に在宅医療や在宅看護の人材育成も含めて取組が進むようにしてきた。9総では次に何をやるかを諮問させていただいた。

### ■ 諮問書の授受

副市長から会長に諮問書を手渡し

〈地域会議委員との写真撮影〉

### ■ 諮問の概要説明（資料2・3頁）

- ・ポイントを絞って説明

### ■ 意見交換会

委員：井郷地域は、拠点として発展してきて住宅や企業進出が進む中で、計画の中で道路・交通アクセスが後追いになっていると感ずる。猿投駅の無人化など今後の基盤が維持されているのか心配な部分がある。都市計画道路として勘八峡線や猿投学校通り線という二つの幹線があるが、8総ではあまり取り上げられなかった。9総では着実に前に進めていただきたい。

副市長：都市基盤も含めて、道路のことはこれから9総の策定の中で検討を進めていきたい。市内に26の鉄道駅があるが、それらが十分に活用されているかどうかというところではない。これからまちづくりを考える際には、「えきちか居住誘導エリア」を仮に示しているが、これから若者が車を持たないことが考えられるため、駅の近くに住むということも想定しながら、人口減少の中、しっかりと鉄道を維持していくという意味で駅周辺の土地利用を考える必要があるということで、今回特出ししている。この件についても検討を進めていく。

委員：こどもの視点から考えたが、昨年度から学校での部活動がなくなった。部活動の講師を地域の方をお願いして、バスケ、サッカーなど四郷小、井上小については、火曜、金曜に部活動を継続している。文科省の方針は承知しているが、これらを市で支援できないか。現在はわくわく事業でやっているが、かなりきついと感ずている。いつまで続けられるか分からない。市内でも寺部小、平井小、市木小、土橋小しか立ち上がっていない、それ以外の学校ではこども達は授業が終わったらそのまま帰っている。こども達のためにも何か考えられないか。

副市長：先ほど説明のあつた（仮称）ミライ実現戦略2030で、横断的な目標として

「こども」を挙げていが、地域でこどもを育てることが重要であると考えている。それを先駆的にわくわく事業でやっていただいているということで、先進事例として参考にさせていきたい。こどもを視点として挙げた場合、今のようなことは非常に大事だと思う。

- ・以前にこちらに招いたいただいた際に拝見したが、棒の手が非常に盛んで、地域の大人がこどもを育て上げている。地域のこどもの顔や名前が分かって、お互いに顔が見える関係が出来ているのは良いと思う。家庭や学校だけではできないことができる地域は素晴らしい。

企画課：こども視点で特に学び合い、支え合いのテーマの中で、部活動の地域移行は大きなテーマだと認識している。地域には企業のスポーツチームなどがあり、豊富な地域資源を有しているので、いろいろな資源を含めて今後いい仕組みができるように今後考えていきたい。

委員：8総で2040年を目指して基本構想、実施計画を立てているが、今後5年間を見据えて一旦ご破算にして、立て直すということか。8総は踏襲しつつ構想をめざしたものを9総としていくのかどちらか。

企画課：当時8総を策定した際、人口推計など見えている社会背景が異なってきている。人口が2019年から減少し始めていたり、生成AIの出現など情勢が変わってきているので、先が見えにくくなっている中で2040年という区切りは一旦外している。

副市長：構想レベルでいうと、視点として8総では2040年を見据えながら、4年間を実践計画として進めたが、9総でも2050年を視野において、最初の5年間を実践戦略として進める。これからの時代どんなものが必要か視点を変えて検討していくが、継続性は変わらない。これまでのものを全て捨ててしまうことはない。延長線上で時代に合わせて視点を変えながら進めるということ。

委員：5年間の具体的な数値目標は、方向性の中には出てこないのか。

企画課：状態の目標はこれから設定する。今回はこの方向性でいいのかを皆さんに議論いただきたい。

副市長：現時点では詳しく決まっていないが、具体的な指標を設定して、その進捗具合を毎年ローリングで確認しながら見直しをしていく。そのやり方は変わらない。

- ・先ほど言い足りなかったことで、「つながる」を大事にしていることを補足させていただく。この春先に地域を回らせてもらった時に、コロナ禍で地域の結びつきが弱まってきたという意見を多くいただいた。色々な会合などがやりづらかったということがあったと思うが、そういう時だからこそつなぎ直す必要がある。
- ・「つながる」ということで、これまでに具体的に何をしてきたかと言うと、合併して都市と農山村をつなぐ組織が必要ということで、おいでん・さんそんセンターという組織を作り、都市と山村をつなぐ仕組みをつくった。
- ・これからの地域課題を解決するため、新しい技術を取り入れるために事業者、市民団体と市と一緒に「つながる実証協議会」で、多様な主体の中でつながり、新しい技術

の実証を進めてきた。

- ・また、豊田市は SDGs ミライ都市として、これからの持続可能なまちづくりを進めていくために、SDGs パートナーとして多くの事業者に参加していただいている。
- ・SDGs が介在して、いろいろな分野でつながりが持ってきている。その延長線上で地域共生を福祉分野だけではなく、幅広い分野に広げていくために、今年10月に地域共生社会推進全国サミットがある。これからの地域としてのまちづくりへの思いを、9 総の理念につなげていただけるとありがたい。普段やっている活動の中での思いをぶつけていただければいいと思っている。

委員：名古屋市では65歳以上が使える「敬老パス」というものがある。市バス、地下鉄など公共交通に無料で乗車できるものを交付しているが、豊田市でも名鉄、愛知環状鉄道、おいでんバスなどを利用できるパスはあるのか。

企画課：豊田市では、70歳以上の方向けに3千円でとよたおいでんバスを乗り放題となるチケットがある。

委員：豊田市でも色々な交通機関で使えるパスができるといいと思う。

副市長：超高齢社会の進展を考える中で、参考にさせていただく。

#### 4 令和6年度の地域課題解決事業

地域課題解決事業の取組内容と予算について事務局から説明（資料11～13頁）

事業開始から7年目となるが、継続的に実施していく。

質疑等：13頁の委託料は何か。

→回答：旧御船駅から鉄橋までの間の散策路の草刈りを年2回行っており、その費用となる。

#### 5 わくわく事業現場訪問

「御船の川と環境を守る会」の活動について、訪問した委員から報告（資料14頁）

#### 6 情報共有・事務連絡

・情報共有なし

・事務連絡

地域共生社会推進全国サミットのチラシ配付

パネル展示として、旧地域予算提案事業で実施していた「いさとお助け隊」の活動報告を行う。

8月23日に市長に提言書を提出する予定

机上に配付した諮問に関するワークシートは8月25日までに返信するよう依頼（次回の予定）

日時：令和5年9月20日（水） 午後7時から

場所：猿投コミュニティセンター2階 大会議室

内容：高齢福祉課への答申